

| No. | カテゴリ | 説明 | 対処内容 |
|-----|----------------|---|--|
| 1 | 自動記録 | Ver.7.6.0でブラウザ操作を自動記録する際、変数一覧画面の「値の取得・設定」アイコンから「リストの現在の項目を取得」を選択してノード生成すると「要素のPath」が空欄になってしまう。 | ブラウザ操作を自動記録する際、変数一覧画面の「値の取得・設定」アイコンから「リストの現在の項目を取得」を選択してノード生成した際に正しく「要素のPath」が設定されるよう修正しました。 |
| 2 | UIオートメーション | UIオートメーションライブラリのプロパティ画面において、詳細設定タブでコントロールパス書式のバージョンに「バージョン2」を指定した状態で対象コントロール指定を実施した場合に、一部アプリケーションでシナリオ実行時に操作対象を取り違えてしまうことがある。 | UIオートメーションライブラリのプロパティ画面において、詳細設定タブでコントロールパス書式のバージョンに「バージョン2」を指定した状態で対象コントロール指定を実施した場合に、シナリオ実行時に意図した通り操作対象を選択できるよう安定性を向上させました。 |
| 3 | ライブラリ | 「99_外部サービス連携¥02_HTTP関連¥HTTP(詳細)」ライブラリにてファイルアップロードを行う際、ファイル名やname属性にマルチバイト文字が含まれる場合、utf-8エンコードの文字列をbase64エンコードして送信している。 | 「99_外部サービス連携¥02_HTTP関連¥HTTP(詳細)」ライブラリのファイルアップロードのオプションとして「ファイル名とname属性をbase64エンコードしない」を追加しました。オプションをチェックすると、マルチパート内のContent-Dispositionヘッダに指定されるファイル名やname属性が、utf-8エンコードされた文字列として送信されます。オプションをチェックしないと、従来通り、utf-8エンコードされた文字列をbase64エンコードして送信されます。 |
| 4 | サブシナリオ | 「04_Box¥02_ファイル¥情報取得」や「04_Box¥03_フォルダ¥配下要素一覧取得」などのサブシナリオについて、ファイル名やフォルダ名に日本語が含まれる場合はunicodeエスケープシーケンスの状態で応答が返される。 ファイル名やフォルダパスなどだけを取り出したい場合があるので、通常テキストで取得できるようにしてほしい。 | 以下のBox連携のサブシナリオについて、呼び出し設定項目に「応答ボディに含まれるUnicodeエスケープシーケンスをデコードするか否か」を追加しました。 応答をUnicodeエスケープシーケンスではなく通常テキストで取得したい場合には本項目に「true」を設定してください。 ・ 04_Box¥02_ファイル¥情報取得 ・ 04_Box¥03_フォルダ¥情報取得 ・ 04_Box¥03_フォルダ¥配下要素一覧取得 ・ 04_Box¥04_検索¥検索 |
| 5 | ブラウザ操作 | ブラウザ拡張機能を利用する設定で、Ver7.5.1以降のブラウザ操作ライブラリにて、Pathの種別をSelectorに変更して拡張機能を使用した場合、ShadowDOMを持つ要素自身及びその直下の子要素に対して「指定される要素が見つかりません」というエラーが発生することがある。 | ブラウザ操作ライブラリにて、Pathの種別をSelectorに変更して拡張機能を使用した場合、ShadowDOMを持つ要素自身及びその直下の子要素に対して操作されるよう修正しました。 |
| 6 | ブラウザ操作 | ブラウザ拡張機能を利用する設定で、Ver7.5.1以降のブラウザ操作ライブラリにて、Pathの種別をSelectorに変更してPathを取得した際に、取得される文字列がエスケープされない。 | ブラウザ操作ライブラリにて、Pathの種別をSelectorに変更してPathを取得した際に、取得される文字列がエスケープされるように修正しました。 |
| 7 | シナリオフォーマットチェック | シナリオフォーマットチェックタブ画面にて、チェック結果に表示されている項目を選択状態で、タブ画面内の選択中項目とは無関係の場所でダブルクリックすると選択中項目の場所へ移動してしまう。 | シナリオフォーマットチェックタブ画面にて、チェック結果に表示されている項目を選択状態で、タブ画面内の選択中項目とは無関係の場所でダブルクリックしても何も起こらなくなるよう修正しました。 |
| 8 | 設定エクスポート | Ver.7.6.0の設定エクスポート画面の「生成AI」項目の内容が[ツール]-[外部サービス連携]の生成AI設定画面の内容と一致しない。 | 設定エクスポート画面の「生成AI」項目の内容が、[ツール]-[外部サービス連携]の生成AI連携設定画面の内容と一致するよう修正しました。 なお、生成AI連携設定画面においてどの生成AIサービスを利用するか(利用しない選択肢も含みます)は、設定エクスポート画面の「生成AIサービス選択」の項目でエクスポート可能です。 |

| | | | |
|----|----------------|--|--|
| 9 | ブラウザ操作 | Ver.7.6.0の「23_ブラウザ関連¥05_表¥テーブルスクレイピング」ライブラリにて、ブラウザ拡張機能を使用し、UL/OL/DIVタグのテーブル要素に対して複数ページをスクレイピングすると、2ページ目以降でテーブルスクレイピングを実行した際にエラーが発生する。 DLタグのテーブル要素に対して複数ページをスクレイピングすると、ページ遷移後のスクレイピング結果毎に改行コードが挿入されない。 「ページ遷移要素のPath」のプロパティを設定しない場合は、本事象は発生しない。 | 「23_ブラウザ関連¥05_表¥テーブルスクレイピング」ライブラリにて、ブラウザ拡張機能を使用し、UL/OL/DIVタグのテーブル要素に対して複数ページをスクレイピングした際、エラーが発生しなくなるように修正しました。 DLタグのテーブル要素に対して複数ページをスクレイピングした際、ページ遷移後のスクレイピング結果毎に改行コードが挿入されるように修正しました。 |
| 10 | ブラウザ操作 | 「23_ブラウザ関連¥05_表¥テーブルスクレイピング」ライブラリにて、WebDriverを使用し、複数ページをスクレイピングしようとした際、ページ遷移後のスクレイピング取得結果が安定せず同じ情報を取得してしまうことがある。 | 「23_ブラウザ関連¥05_表¥テーブルスクレイピング」ライブラリにて、WebDriverを使用し、複数ページをスクレイピングしようとした際、ページ遷移後のスクレイピング取得結果を正常に取得できるよう改善しました。 |
| 11 | 動画ログ | オプション画面の[ログ]タブにて「動画ログを出力する」をONにしていると、「シナリオファイル呼び出し」と「シナリオGoto」の実行時にエラーが発生する。 | オプション画面の[ログ]タブにて「動画ログを出力する」をONにしている状態で「シナリオファイル呼び出し」と「シナリオGoto」を実行した際にエラーが発生しなくなるよう修正しました。 |
| 12 | GUI | Ver.7.6.0にて「WinActor終了」ライブラリを使ってWinActorを終了させた際にパレットエリアのタブの並び順が勝手に変わってしまう。 | 「WinActor終了」ライブラリを使ってWinActorを終了させた際にパレットエリアのタブの並び順が変わらなくなるよう修正しました。 |
| 13 | オンラインシナリオ管理 | 管理サーバー1と接続中に[ツール]-[オンラインシナリオ管理]から管理サーバー2を使用するよう設定すると、オンラインシナリオ管理画面で「編集」ボタンをクリックしてシナリオ編集した際のアップロード時にエラーとなる。 | 接続中の管理サーバーと、オンラインシナリオ管理画面で使用する管理サーバーが不一致である場合に、オンラインシナリオ管理画面で「編集」ボタンをクリックしてシナリオ編集した際のアップロード時にエラーとならないよう修正しました。 |
| 14 | インストーラー | WinActorをこれまでインストールしたことのない環境においてFL版をインストールして起動した後、NL版をインストールするとNL評価期間が0日になってしまう。 | WinActorをこれまでインストールしたことのない環境においてFL版をインストールして起動した後、NL版をインストールした際にNL評価期間が30日となるよう修正しました。 なお、本修正はVer.7.6.1以降で有効となりますので、Ver.7.6.0以前のFL版をインストールして起動した環境において、Ver.7.6.1を改めてインストールしても評価期間の再設定は行われません。 |
| 15 | インストーラー | NL/FLに関わらずVer.7の標準ユーザー版をインストールして起動した後、誤って管理者版をインストールすると製品IDが変わってしまう。 NLの場合には適用していた製品ライセンスが無効になってしまうことがあるため、製品IDを引き継げるようにしてほしい。 | 標準ユーザー版をインストールして起動したことのある環境において、管理者版をインストールして起動した際に製品IDを引き継げるよう修正しました。 NLで製品ライセンスを適用していた場合には、適用済みのライセンス情報も合わせて引き継ぎます。 |
| 16 | シナリオフォーマットチェック | シナリオフォーマットチェックタブ画面にて、浮きフローの中の独立したノードがエラー状態である場合にはチェックアイコンクリック時に警告メッセージが表示されるが、浮きフローのグループノード等の中にエラー状態のノードが存在する場合はエラーにならずにチェック可能となる。 | シナリオフォーマットチェックタブ画面にて、グループノード等に含まれているか否かに関わらず、チェックアイコンクリック時に浮きフローの中のノードのエラーチェックを行わないよう修正しました。 |
| 17 | サブシナリオ | Ver.7.6.0でチャット応答取得(Azure OpenAI)のサブシナリオの呼び出し設定項目に temperature を設定すると実行に失敗してしまう。 n、max_tokens、presence_penalty、frequency_penalty、logit_bias を設定した場合も同様に失敗となる。 | チャット応答取得(Azure OpenAI)のサブシナリオの呼び出し設定項目に temperature などを設定した際に実行エラーとならないよう修正しました。 チャット応答取得(OpenAI)にも同様の問題があったので合わせて修正しています。 |
| 18 | GUI | Ver.7.6.0において、ショートカットキー[Ctrl+3]で変数一覧画面を表示させた後、フローチャート上の任意の場所をクリックするなどの操作を行うと意図せず変数一覧画面が消えてしまう。 | ショートカットキー[Ctrl+3]で変数一覧画面を表示させた後、任意の操作を行った際に意図せず変数一覧画面が消えないよう修正しました。 ショートカットキー[Ctrl+4]、[Ctrl+M]についても同様の問題がありましたので合わせて修正しています。 |

| | | | |
|----|----------------------|--|---|
| 19 | ウィンドウ 識別ルール 画面 | Ver.7.6.0において、ウィンドウ識別ルール画面で画面右側のウィンドウタイトルなどの「文字列」や「記録時情報」のテキストボックスをフォーカスした後、別の場所をクリックするなどフォーカスを移すと不測のエラーが発生する。 | ウィンドウ識別ルール画面で画面右側のウィンドウタイトルなどのテキストボックスをフォーカスした後、別の場所へフォーカスを移した際にエラーが発生しないよう修正しました。 |
| 20 | GUI | [ファイル]-[新規作成(生成AI利用)]からチャット画面を表示している際に、[表示]メニュー配下の[シナリオフォーマットチェック]が選択できてしまう。 | [ファイル]-[新規作成(生成AI利用)]からチャット画面を表示している際に、[表示]メニュー配下に[シナリオフォーマットチェック]が表示されないよう修正しました。 |
| 21 | GUI | 新規作成(生成AI利用)において、チャット対話中にフローチャートタブにある[+]ボタンからタブが追加できてしまう。 | 新規作成(生成AI利用)において、チャット対話中にフローチャートタブにある[+]ボタンをクリックできないよう修正しました。 フローチャートツールバー右側にあるノード検索の入力欄と検索アイコンについても同様の問題がありましたので、合わせて修正しています。 |